

平成29年 1月30日
九州地方整備局
大隅河川国道事務所

記者発表資料

「桜島砂防40年 タイムカプセルの集い」開催

桜島では昭和47年以降、噴火活動の活発化に伴い、山体の荒廃も進み、土石流も頻発するようになりました。昭和49年には、砂防工事関係者が作業中に土石流に巻き込まれ死亡するという痛ましい被害が発生しました。

このことから桜島砂防事業は抜本的な土石流対策の検討と計画の策定を求める地元の声の高まりを受け、昭和51年（1976年）度より国が対策工事を行う直轄事業に着手し、このたび、平成28年（2016年）度で40年を迎えました。

この桜島砂防事業40年を記念して、10年前に封入した過去のタイムカプセルの開封・お披露目を行うとともに、今回、島内小学校4年生が書いた絵画・作文等を未来に向けて新たにタイムカプセルの封入を実施します。

過去から未来へ、この美しい桜島をいつもでも守り続け、今後の地域の安全を願いつつ、地域発展に寄与する砂防事業の意義を地元の桜島島民をはじめとする県民や関係各位の皆様方と分かち合うため、「桜島砂防40年 タイムカプセルの集い」を下記の日時で開催致します。

記

1. 日 時 平成29年2月4日（土）13:30～
2. 場 所 鹿児島市野尻町203-1 「桜島国際火山砂防センター 3階」
詳細は別紙、位置図を参照
3. 内 容 主催者挨拶
来賓挨拶
事業経過報告
特別講演（京都大学防災研究所火山活動研究センター長 井口正人 氏）
タイムカプセル封入

※気象状況により中止となることがあります。

【問い合わせ先】

国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所
技術副所長 島元 尚徳
調査第二課長 野田 信幸
電話（0994）65-2541（代表）

位置図

